

学校保健委員会と第2回学校運営協議会を開催しました

9月17日(木)13:30から、学校保健委員会と第2回学校運営協議会を開催しました。本年度は、例年行っている学校医の先生方を招いた学校保健会に学校運営協議会の皆さんにもご参加いただき、本校のこどもたちの健康にかかわる状況を伝えるとともにご意見をいただきました。また、学校運営協議会では、学力・学習状況(飯野小学校だより No.13参照)を伝え、ご意見をいただきました。協議会で出された内容や意見は、下表のようになります。(抜粋)



- (1) 学校保健委員会でのご意見等
- 廊下・階段でのケガが増えているが、雨の日の過ごし方はどうしているのか？
→各教室にカードゲーム(トランプ・UNO)を用意するなどの工夫をしている。
 - けが人、体調不良者以外で付き添いのこどもが多い。なしでもよいのではないか。
→こどもの気持ちを大事にしながら、教室に戻るよう促している。
 - ケガについて、教員が安易に判断せず、保護者にしっかりと説明するように継続して対応してほしい。
 - 学校医の先生方から
・しゃがめない児童が増え、肥満との関連があるため、食生活に注意してほしい。
・全体的には歯磨きはできている。ただ、歯垢が多い状況もみられる。歯磨きを。
・(検尿の結果から)生活習慣に注意してほしい。
- (2) 学校運営協議会でのご意見等
- 調査結果は、全国との平均の比較よりも、何を目的にしているのをはっきりした方がよいのではないか。
→調査結果から成果と課題をはっきりさせて、教育活動の改善につなげたい。
 - 知識理解は詳細まで覚えなくていい。AIの活用が重要な時代になってきている。
人にしか出来ないことを学校がやっていかないといけない。
 - 人同士が協働する力を養いたい。最後は人の技術が必要となってくる。
 - 興味関心をこどもたちにもたせることが必要。きっかけを多くつくるのが学校の役割。自覚するタイミングは人それぞれ。きっかけをたくさんつくるのが大事。
 - 学習時間の定義を捉えなおす必要がある。自分の興味や関心に基づいた学習で、これまでは学習とはよべなかった活動も学習時間とする必要があるのでは。